

楽しさあふれる

わたらせ溪谷鉄道



2024年8月17日
箕輪小学校
草場奏汰

わたらせ溪谷鉄道に乗って...

ぼくは6月29日に大間々駅から足尾の通洞馬まで、わたらせ溪谷鉄道の旅をしました。一日フリーモップを使い、ました。電車は三両へん成であずき色のレトロな電車でした。乗ってすぐに駅員さんが「わ鉄」のグッズを売りに来ました。ぼくはワッシーの筆箱を買いました。

通洞駅は木造で古い建物でしたが、みんなが安心して使える駅だと思いました。駅前のあじさいの花もきれいでした。帰りにはトロゴ列車で帰りました。まじがラスがないのでとてもすずしかったです。野生のシカを見ました。川がすきとおっていて、石が白くてきれいでした。



わたらせ溪谷鉄道とは

足尾銅山の銅を運ぶため足尾鉄道ができました。明治44年に一部開通、大正7年に全線開通しました。大正7年(1918)に国有化され、足尾は日本一の銅の町として、とても栄えました。銅山がなくなりはい線されそうだったけど、地元の人達の活やくで平成元年(1989)に「わたらせ溪谷鉄道」として残されました。

最後に銅資料館で銅からお金を作る様子が見られます。おもしろかったです。一両両方です。おもしろかったです。



探検! 足尾銅山

トロゴに乗って坑道に入りました。銅山の中には銅をほったり、運んだりしている人形がたくさんありました。江戸時代から昭和まで働く人の様子が見られました。暗くて寒い通路を通り、上から水が落ちてきたりして、探検気分が味わえました。銅山の歴史が映像でも見られてよく分かりました。

銅資料館前で、銅がとてもしっかりと説明してくれました。他の民鉄とコラボしたクリアファイルや、とコラボしたクリアファイルを、いとこのお土産にしました。



また行きたくなる 色々な工夫

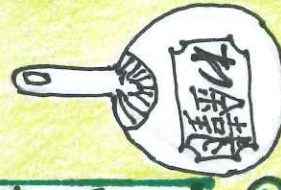
①トロゴ列車

・フォトスポットで停まってくれるので、ゆくり写真がとれる。
・浅や川の説明が分かりやすい。
・草木トネルの長くて暗いことを利用して、車内のイルミネーションがくっきりと見えてきれい。
・子供用のフォトスポットがある。運転士さんのぼうしをかぶって、電車を運転する体験ができる場所がある。ぼくもやたら楽しかった。
・わ鉄グッズの販売コーナーがある。



③駅員さん達の努力

レトロな電車はみ力的ですが、レトロな雰囲気がいいので、駅員さん達がオリジナルのうちわを作ってお客さんにプレゼントして涼しくなるように工夫しています。電車はみ力的ですが、レトロな雰囲気がいいので、駅員さん達がオリジナルのうちわを作ってお客さんにプレゼントして涼しくなるように工夫しています。



⑤いろいろな企画(きかく)

・トロゴ列車で足尾銅山へ行くツアー
・馬駅から足尾銅山や町をまわるハイキング
・ゾンビトレインやゾンビバスのイベント
・おみやげやお年寄りを楽しめることを計画しているそうです。

ぼくは、わたらせ溪谷鉄道にもっとたくさんの人が来たいと思って、色々な事を考えてみました。①どの季節もみんなが楽しめるように、足尾に作る。(公園、温水プール、キャラクターゾーン)
②足尾の町に古い建物を利用したホテルを作る。(安く泊まれる。)
③色とりどりの花(マンホール)に色をつけて、をやる。

編集後記
ぼくは初めてレトロな電車に乗りました。まじがラスがないのでとても涼しかったです。駅員さんが色々な工夫をしてくれて、とても楽しかったです。次は冬はイルミネーションを見たいです。

